

景観まちづくり学習助成事業実施校 学校名 相模原市立富士見小学校

① 学習指導案

プログラム	No. 11 「 地域景観プランナーになろう 」
単元名 (全17時間)	「街に花の風景をプレゼントしよう！」
学習のねらい	友達や地域の方と協働的に活動することの大切さを実感しながら取り組むとともに、自分や周りの人、地域の良さを自覚し、主体的に関わっていこうとする態度を養う。
学習内容	1 まちづくりの計画をたてよう 2 花の風景を考えよう 3 まちの人に相談しよう 4 みんなに知らせよう『まちに花をプレゼントしよう!』
参考資料 準備品 実施場所等	協力者：まち・みどりの公社、FCボランティア、富士見小ボランティアクローバーズ 準備品：種・苗・肥料・土・水やり道具・種を育てる入れ物 実施場所：通学路

学習の流れ

時間	学習活動	教師の指導	評価
1	1 まちづくりの計画をたてよう ① 道の花壇に植栽をしている団体に相談して、まちの景観づくりについて、どんな活動をしているか、詳しくお話を聞く。	育てた花から収穫した種を生かして、まちの景観づくりを行うにあたり、どんなことに気をつければよいか、今後、いろいろなことを決めていく上での指針を学び、課題を導き出せるようにする。	考えた活動を成功させるために必要な課題を明らかにしている。【思考・判断・表現】
2	2 花の風景を考えよう ② まち探検を行い、通学路を観察。写真を撮って、景観づくりをする場所の候補を挙げる。	どこにつくると地域の人々の目に入り、喜ばれるかといった、相手の立場に立って考えることを条件として、情報収集が行えるように指導する。	まちのためにどんな花・場所がよいか調べるために適切な方法を実施している。【知識・技能】
1	③ どんな花の種類が良いか、春に咲く花を調べる。	これまでの経験を生かして、選択できるようにする。	
1	④ 場所ごとに担当を分け、	自分事のできるよう、担当を決め	課題や活動を自分事

	それぞれの思いが込められるようにする。	て責任をもって取り組み、思いが表現できるようにする。	として考え、友達と協働して課題解決に取り組もうとしている。【主体的に学習に取り組む態度】
1	⑤ 景観のデザインと計画書を作る。	計画書を作ることで、困ることがないか、必要なことが抜け落ちていないか、客観的に考えられるようにする。	
1	⑥ 計画書を完成させ、ボランティア団体に見てもらい、ご意見をいただく。	経験がある方に相談して、改善する。	
1	⑦ 再度、計画書を検討、改善する。	いただいた意見をもとに、計画を整理できるようにする。	
1	⑧ 種や苗、土や肥料などの準備をする。まち・みどりの公社さんにも、アドバイザーとして協力をお願いする。	必要となる物の費用を計算し、できること、できないことを考える。また、できないことはどうフォローするか考える。以上のように全体のバランスを図る。	収集した情報を整理し、活動を行うために全体のバランスを考え適切なものを取捨選択している。
6	⑨ 計画した場所に、種や苗を植え付ける。		
2	⑩ 活動を振り返り、まちの花のある風景を楽しんでもらいたいという思いを伝えるためにポスターやちらしを作って校内や地域に知らせる。	国語『ポスターを読もう』での学びを生かし、より思いが伝わるポスターやちらしが作成できるようにする。	探究的な活動が、周りの人の喜びとなり、自分の喜びと成長につながっていることに気付いている。 【知識・理解】

<留意点>

地域の人やものとのできるだけ関わりがもち、地域のよさを実感することで、よりよいまちづくりをしようという思いにつながるよう指導する。

**事業実施報告書詳細**

1学期から『富士見小学校20周年を花で盛り上げよう』というテーマで活動し、中庭にコスモス迷路を作る活動を行った。コスモスは思った通りに咲かなかったものの、パンジーを使って、校章や、富士見小をイメージさせる富士山、富士見小学校20周年を意味する『F20』を作った。その間を縫うように迷路を作り、PTA主催のお祭りに出店し、盛り上げた。

協力してくれた地域のまち・みどり公社さんの街に花やみどりを増やそうという思いと、まち


・みどり公さん社をはじめ、富士見小学校のみんなを温かく見守り、協力してくださっている地域の方々に喜んでもらえるよう『街を花でいっぱいにしてようミッション』をスタートさせた。

コロナ禍であったため、初めの計画通りにはいかず、人と関わることに制限のある活動となったが、充実したものとなるよう努めた。

学校名 相模原市立富士見小学校

時間数	場所	概要	活動記録(写真)	対象者の反応
2	教室	<p>① 学区や通学路をグーグルマップで観察。地域の人に喜んでもらえるような景観づくりをする場所の候補を挙げる。</p> <p>⇒まち・みどり公社に相談。「道や公園に花を植えるには「植えて良い」という許可を市から得る必要がある。」との助言。</p> <p>⇒市民共同課・公園課に電話して相談。簡単に植えることができなかった。</p> <p>⇒2学期にお世話になったケーキ屋さんの写真を見ると鉢で花を置いてあることに気づき、お世話になったお店やお家に植木鉢で花を贈ることになった。</p>	   	<p>・公園なら、地域の人が集まるし、花を喜んでもらえる。</p> <p>・大きな道路なら人が通る。</p> <p>・いつも通っている通学路がいい。</p> <p>・お世話になったお店や商店街を花でいっぱいになりたい。</p> <p>・お店の前に鉢で花が置いてあるよ</p> <p>・植木鉢に寄せ植えをしてプレゼントしよう。</p>

1	教室	<p>② どんな花の種類が良いか、春に咲く花を調べる。</p> <p>⇒チューリップ・パンジー・菜の花を植木鉢に寄せ植えして贈ることになった。</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年生でチューリップを育ててきれいだっただ。</li> <li>・私たちが種から育てたパンジーを贈りたい。</li> <li>・菜の花が春の花って検索で出ていたよ。</li> </ul>
1	教室	<p>③ プレゼントする植木鉢を探そう。</p> <p>⇒寄せ植えができる大きさの植木鉢、必要な量の土・種・球根をパソコンを使って探す。</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・色はどんなものが喜ばれるかな。</li> <li>・値段も高すぎない方がいいよね。</li> <li>・僕たちが使っている植木鉢は何センチぐらいかな。7号サイズの鉢と同じだね。</li> </ul>
2	教室	<p>④ 場所ごとに担当を分け、それぞれの思いが込められるようにする。</p> <p>⇒私たちがお世話になった相手だけでなく、富士見小学校代表として、お世話になったお店や人をブログから探そう。</p>	<p><b>全校: オンライン旅行 取材</b></p> <p>6年3組では、オンラインの相模原ツアー作成の直接取材させていただき、オンラインで取材が足りず、インターネット上にはない生の情報協力してくださっているお店は以下の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○相模湖リゾートプレジャーフォレストさん</li> <li>○オギノパンさん</li> <li>○ベジタベ〜なさん</li> <li>○トランボリンパークMr.JUMP相模原さん</li> <li>○ドローンラウンジ・ジュピターさん</li> <li>○JAXA相模原キャンパスさん</li> <li>○ソレアドさん</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・色々な学年が色々な人にお世話になっているって分かった。</li> <li>・遠くのお店だけど、僕が行くときに持って行くよ。</li> </ul>

2	教室	<p>⑤ お店に感謝の気持ちを伝え、寄せ植えを受け取ってもらえるように手紙を書く。</p> <p>⇒往復葉書にして、届にいいか返事をもらい、了解を得たら、届けに行くことにする。</p>	<p>近山町元東ですか、 日暮、富士見小学校にて協力提供ありがとうございます。 「ふいみのまちをばなでいばにしよう」という総合学習で富士見小が中心地区になった。植木鉢を届けたいと思っています。お礼状をいいたがるのであれば、「はい」に回答して返信は好きを送ってください。 お返事お待ちしております。 お言葉がけをお願いします。 富士見小学校 三年 二組 代表 O.O.より</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・切手代を節約できるよ、届けに行くよ。</li> <li>・コロナだから直接会うのは不安をもたせるかもしれない。</li> <li>・どんな文だと気持ち伝わるかな。</li> </ul>
2	街	<p>⑥ お店に感謝の気持ちを伝え、寄せ植えを受け取ってもらえるように工夫する。</p> <p>⇒コロナもあり、相手のことを考えると置き配にしようかとなったが、どこのお店の方もたいへん快く、直接受け取ってくださり、顔を合わせ、言葉を交わして渡せた子供たちにとって大きな成果を感じられるものとなった。</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接ありがとうと伝えることが出来た。</li> <li>・優しいまちの人ばかり</li> </ul>
2	教室	<p>⑦ 活動を振り返り、まちの花のある風景を楽しんでもらいたいという思いを伝えるためにポスターやちらしを作って校内や地域に知らせる。</p> <p>⇒放送原稿を作り、全校児童に知らせ、あたたかな街の人と富士見小の</p>	<p>3年2組は、総合の活動で、富士見小のいろいろな学年がお世話になった地域のみなさんに、感謝の気持ちを伝えるために、私たちが育てた よせ植えの植木鉢をプレゼントしてきました。</p> <p>みなさん、よろこんでくれて、富士見小学校は、やさしい地域にさせられていると分かりました。</p> <p>プレゼントした相手は、 きしゃぼんぼさん・クローバズさん 中央公民館さん・まちみどり公社さん 環境情報センターさん スーリールさん・マロンさん・セ・ラ・セゾンさん イモンチさん・野原のらっかせいさん・フッセンさん はっちゃんさん・くぼた書店さん・逸路商店さん えちご屋さん・砂川たみ店さん・7-47ドゥさん ヨークマートさん・トロピランドさん・ 西門商店街さん・ぎょうざの朝日屋さん・ ベジタバーナさん・お好み焼きの火拳（ひけん）さん</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どのお店の人もこころよく受け取ってくれて嬉しかった。</li> <li>・まちが花でいっぱいになって嬉しい。</li> <li>・あたたかくなって、チューリップや菜の花がさくと嬉しい。</li> </ul>

		つながりについて伝えることができた。	つくいサンシャイン相模原さん・ドローンカフェさん えいご幼稚園さん・しらゆり幼稚園さん・ やよい幼稚園さん・さがみ保育園さん です。 植木鉢には「富士見小学校にご協力ありがとうございました」と書かれています。 見つけたら、ぜひ、みなさんも感謝の気持ちを伝えてください。 よろしくおねがいします。	
--	--	--------------------	--	--

### ③ 実施内容について

<p>(1) 実施にあたり工夫した点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まちの景観づくりを行っているボランティア団体と関わることをスタートとしたことで、子ども達の考えが、校内から街へ活動を広げようとするように流れをつくったこと。街と関わるにあたり、どのような方法が採れるか考えたこと。</li> </ul>
<p>(2) 実施にあたり苦労した点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・街の景観を良くするためにどうしたらよいかと話し合った結果、公園や道を花でいっぱいにしてしようという考えでスタートしたが、市に相談すると、公道や公園に勝手に植えてはいけないということが分かり、悩んだ。そこで、2学期にお世話になった街のケーキ屋さんと交流するうちに、「私たちが育てた花を寄せ植えにして、お店に置いてもらう」というアイデアが生まれ、活動をすすめることができた。</li> </ul>
<p>(3) 児童の反応</p> <p>自分たちが学校の代表として、お世話になったあらゆる地域のお店や団体にプレゼントをするという使命感をもち、生き生きと活動していた。9月に種を蒔き、花を見事に咲かせたパンジーが、街の人の笑顔につながり、また、自分たちの喜びにもなり、「誰かの笑顔は自分たちの喜びになる」ことに気づくことができた。</p> <p>また、校内だけではなく、街に出て活動したことは、大きな自信となり、「来年度も街に出て活動したい」という次への意欲につながった。</p> <p>渡してすぐの給食の時間に「とっても嬉しかったので、お返事のハガキを作りました」と持ってきてくださった方がいたり、さらには年度が替わってからも、「菜の花が咲きました」とお手紙をくれたりと、子供たちは、街の人のあたたかいお返しにとっても嬉しい気持ちになり、感動していた。</p> <p>学区内の32カ所に置かれた、</p> <p>「富士見小学校にご協力ありがとうございました。」という札（子供がデザイン）のついた寄せ植えは、街が富士見小を応援してくれている証となり、絆となってくれ、これまでの20年間以上に、街と関わっていかうとする自信となった。</p>



(4) 担当教諭及び担当外教諭の変化

私は本校に在籍が7年目となります。創立20年であるので、ほぼ3分の1在籍していることとなりますが、初代校長の話聞いて、初めて「伝統」というものが分かりました。その一つが、地域の方々がとても本校を愛してくれていることでした。コロナ禍の中での活動で、学級閉鎖にもなり時間も無く、出来ることを出来る子がやるという、みんなで力を合わせなければ達成できないような本当にギリギリの中での活動でしたが、それを大きな翼で支えてくれるかのような地域の温かさに触れ、正直、こんなにも助けてくれるのかと、驚きと喜びの連続でした。学校は、校内の職員だけではない、改めて、地域の方々のお力合っの、我が校であると感謝の思いをもちました。これからも、地域にお力を借りながら、共に子供たちを育てていけるよう、関わりを大切にしていきたいと思いました。

(5) 今後の課題と取り組み〔児童の思考過程と指導内容との関連付けから、留意すべき事項等〕

今後の課題と取り組み〔児童の思考過程と指導内容との関連付けから、留意すべき事項等〕

子供たちは、生活科や理科で「種はまくと出てくる」と簡単にとらえています。しかし、学習で扱う種は、どの学年も発芽が簡単なもので、学習の流れが取り組みやすくなっています。そのため、選んだ種によっては、発芽温度や気温によって発芽や生育が難しい物があります。失敗や成功を繰り返しながら、分析・調査して、対策を考える力をつけてほしいと考えていますが、最後に成功に導くためにはこちらの、研究・準備が大切になってきます。いろいろな地域の方々の手を借りることに躊躇せず、積極的に報告・相談して、子供たちのイメージが形となるようにしていきたいと思います。